

探してみよう  
出来ること！！

# 障害のある学生への支援のための

学生・保護者・高等学校向け

# Handb👁️👁️K 2025

詳しくは  
開いてみよう！

## この Handbook を手にとっているみなさまへ

大学の目的は、学生が、高度な専門知識を修得するとともに、社会で必要とされる力を身につけることができるよう支援することです。それは、すべての学生に等しく提供されるべきものであります。

沖縄国際大学では、障害のある学生の等しい学びの機会の提供と、キャンパスライフにおけるバリアを取りはらい、すべての学生が充実した大学生活を過ごせるよう支援を行っております。障害のある学生やキャンパスライフに困難を感じる学生からの相談を受け付けておりますので、どうぞ気軽にご相談ください。

この Handbook は、本学が目指す支援を、学生や保護者、高等学校の先生方に理解していただくためのものです。「何かできることをしてみよう」という気持ちと行動が、ダイバーシティキャンパス<sup>※</sup>の実現のための一歩になると考えています。

※ダイバーシティキャンパス：性別・セクシュアリティ・人種・障害に関わらず、多様性を認め合い、差別のないキャンパスのことを表します。

---

## CONTENTS

|                   |   |
|-------------------|---|
| 本学が目指す支援の理念 ..... | 1 |
| ● 入学試験時の配慮 .....  | 2 |
| ● 支援の相談 .....     |   |
| ● 支援制度の利用 .....   |   |
| 支援体制について .....    | 4 |
| 支援の具体例について .....  | 6 |
| バリアフリーマップ .....   | 8 |

## 本学が目指す支援の理念

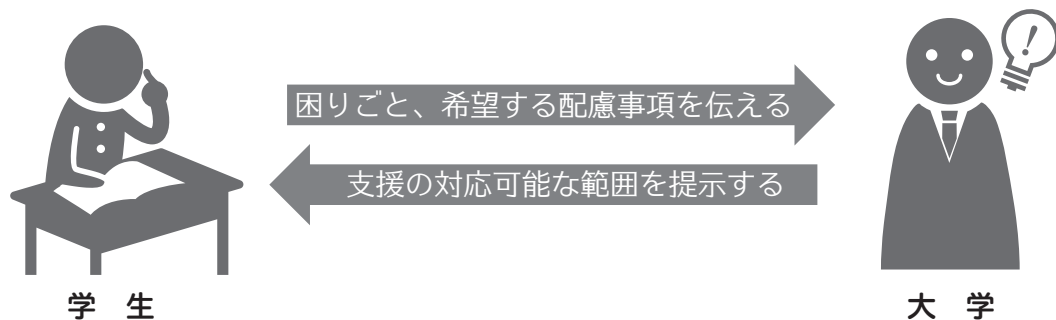
沖縄国際大学が掲げる「人類の平和と共生を支える学術文化を創造する」「豊かな心で個性に富む人間を育み、地域の自立と国際社会の発展に寄与する」という理念は、人々が、個人として尊重され、分け隔てられることなく、相互の人格と個性を尊重しあいながら共生する社会の創造を目指すものです。

本学はこうした理念に基づきダイバーシティキャンパスを目指し、障害の有無に関わらず、学生が等しく教育を受ける権利を実現できるよう支援を行うことを基本姿勢とします。また、障害を理由に不当な差別的な扱いを受けたり、教育・研究や学生生活を等しく送る権利と利益を侵害されることがあってはならないと考えます。

障害のある学生への支援は、一般的・抽象的ではなく、個別の事案ごとに支援を必要とする学生との「建設的対話」を通じて継続的に支援の検討を行っていくべきものです。

本学の教職員は「沖縄国際大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領」（以下「対応要領」と略記）にもとづき、「建設的対話」をふまえた「合理的配慮」を行います。

### 建設的対話のイメージ



繰り返すことが《建設的対話》となる。

## 入学試験時の 配慮

入学試験受験時に特別な配慮を必要とする方は出願に際し、入試要項で定められた期日までに入試センターへ問い合わせをしてください。入学試験に必要な配慮が相談できます。

受験上の心配事や支援内容について学科・研究科等において協議し、入学受験の際の配慮内容を決定します。

決定内容は、入試センターから出身校を通して通知されます。



### 受験上の配慮例

- ・ 出願書類作成時の配慮
- ・ 試験時間の延長
- ・ 問題用紙・解答用紙の拡大
- ・ アクセスしやすい  
受験時教室の割当て

## 入試センター

場 所：本館1階

窓 口：9:00～17:00（月～金）

T E L：098-893-8945

E-mail：entchr@okiu.ac.jp

## 支援の 相談

修学上、配慮を必要とする学生のあらゆる相談を、学生支援室で受けつけます。

まずは、相談をしてください。皆さんのこまっていること、悩んでいることを話すことから始めましょう。



## 学生支援室

場 所：9号館1階

窓 口：平日 9:00～19:00

夏・冬・春期休暇 9:00～17:00

T E L：098-893-0069

E-mail：socwelf@okiu.ac.jp



# 支援制度の 利用

## 1. 相談

普段困っていることや悩んでいることを  
気軽に相談できる場所です。  
ぜひお気軽にご相談ください。



## 2. 申請

申請書を提出。  
※「申請書」は学生支援室にて配布。



## 3. 面談

「申請書」をもとに、面談を行います。  
必要とする配慮内容をともに確認します。



## 4. 合意

面談にて配慮・支援内容を話し合い、  
合意が得られた後、所属学科が  
「配慮願い」を作成します。



## 5. 支援開始

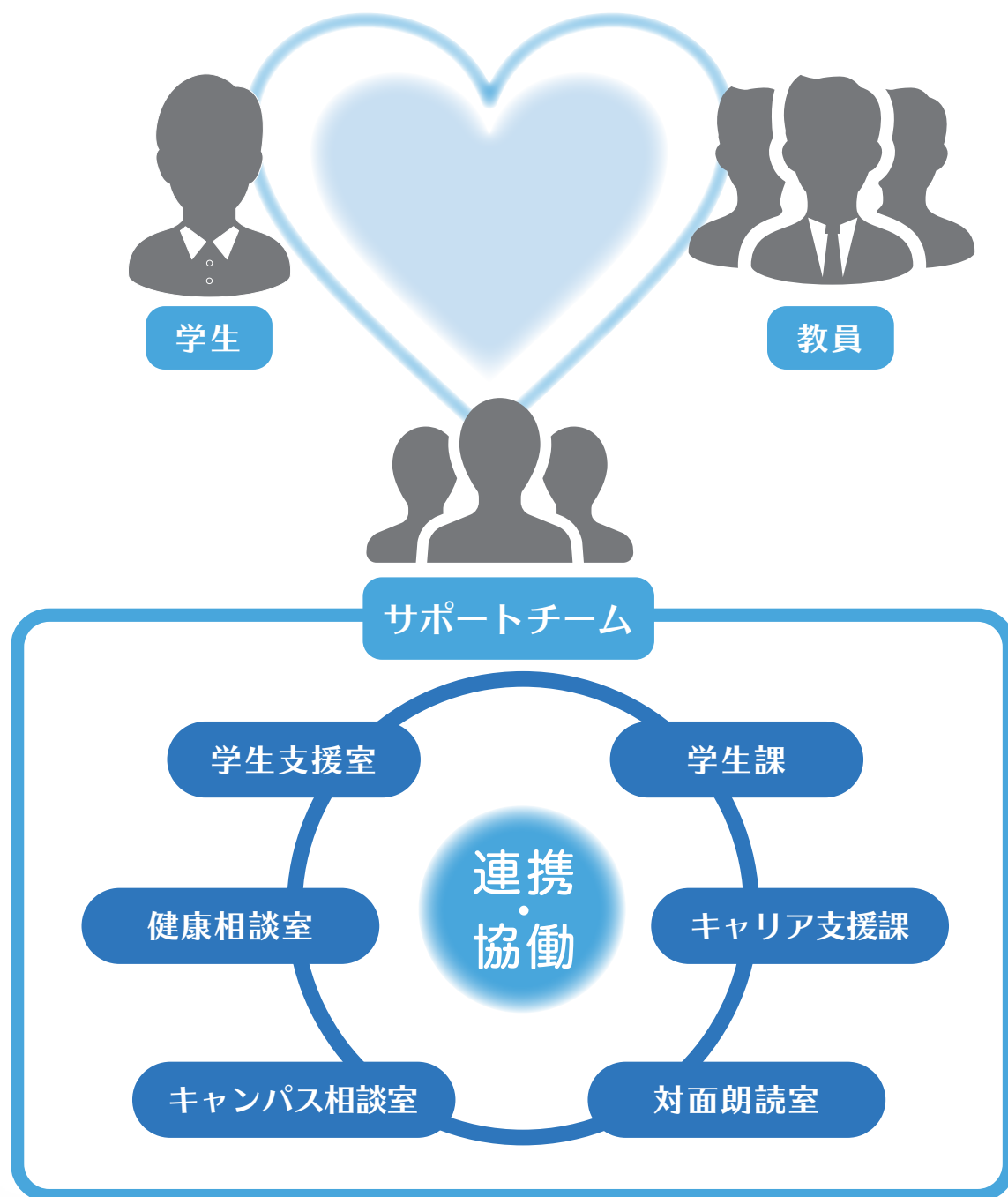
作成した「配慮願い」を各講義担当教員  
へ提出。  
※基本的には学生から直接かメールにて  
提出。  
※前期に1回、後期に1回提出します。

配慮内容に変更がある場合は  
再度面談を行いますので  
ご相談ください。

「配慮願い」作成後も必要に応じて面談をし、配慮内容の見直しを行います。

## 支援体制について

障害のある学生からの相談を受けた際、修学における支援・配慮が必要な場合や専門的助言やアドバイスが必要な場合、カウンセリングを希望する場合など必要に応じて、学科をはじめ、以下の部署が連携を密にしながら対応します。



学生課、キャリア支援課の職員をはじめとして、各部署には以下の専門スタッフがあります。

- \*学 生 支 援 室 … 学生支援員（社会福祉士）
- \*健 康 相 談 室 … 保健師、看護師
- \*キャンパス相談室 … 公認心理師、臨床心理士
- \*対 面 朗 読 室 … 支援員

# 学 部 ・ 学 科 ( 教 育 支 援 全 般 )

TEL : 098-892-1111 (代表)

所属学部・学科では、教育上の配慮や、教育相談等について支援を行います。また、履修上配慮が必要な場合も、所属学科長が中心となり、各教員へ配慮の依頼を行います。

## 学 生 支 援 室 (修学等における相談・支援)

窓口：9:00～19:00 (月～金)  
TEL : 098-893-0069 (直通)

学生支援室では、大学生活において何らかのサポートが必要な学生または教職員を支援します。学生支援員が常駐し、一人ひとりの学生に必要なサポートを共に考え、コーディネートをしていきます。教職員から、支援方法についての相談も受け付けています。また、「ボランティア情報が知りたい」「サポートに興味がある」などのボランティア活動に関心がある学生の応援もしています。

学内バリアフリー推進活動をサポートし、学内のバリア改善に向けて、教職員との連携・調整を行います。

## キャンパス相談室 (心理カウンセリングによる支援)

窓口：9:00～18:00 (月～金)  
TEL : 098-893-3934 (直通)

キャンパス相談室では、専門のカウンセラーが、対人関係全般の悩み、ハラスメントやメンタルヘルスに関する悩みなどの大学生活における様々な相談に応じています。なお、来室したことも含めて利用者のプライバシーは厳守されます。利用学生の承諾が得られた場合、必要に応じて、学科等の他部署との連携を図ります。

## 健 康 相 談 室 (健康面での相談)

窓口：9:00～19:00 (月～金)  
9:00～17:00 (土)  
TEL : 098-893-9036 (直通)

健康相談室では、定期健康診断の実施や健康管理のための指導・助言と、ケガや体調不良に対する応急処置を行います。

## 対 面 朗 読 室 (視覚に関する相談)

窓口：9:00～17:00 (月～金)  
TEL : 098-892-1111 (内線：5110)

対面朗読室では、視覚障害学生の大学生活を支援します。教材・参考資料の点訳や、学外団体との連携、歩行介助などを行います。

## 学 生 課 (学生支援全般)

窓口：9:00～19:00 (月～金)  
TEL : 098-893-7686 (直通)

学生課では、奨学金の相談、学生保険などに関する業務を扱っています。また、課外活動や施設設備等の借用、学生補助金などキャンパスライフのサポート全般の窓口となります。

学生生活においてサポートの必要な学生へは、学生支援室と共同で支援を行います。

## キャリア支援課 (就職に関する相談)

窓口：9:00～19:00 (月～金)  
TEL : 098-893-7779 (直通)

キャリア支援課では、就職活動や資格取得をサポートするため、様々な取り組みを行っています。また、就職活動やキャリアアップに役立つ資料を多数揃えています。

# 支援の具体例について

学生一人ひとりの「困っていること」は、それぞれ異なります。また、「困っていること」も場面・状況によって変化します。

本学は、支援を必要とする学生の「困っていること」を確認し、それぞれに合わせた対応を目指しています。「こんなことでも？」と迷わず、学生支援室までご相談ください。

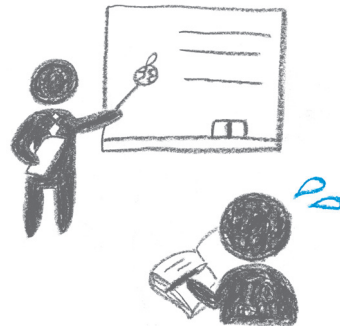
## 支援の例

段差があり、車椅子での移動に  
困っています。



- 建物入口・教室入口にスロープなどを設置します。
- 車椅子専用駐車場から建物の動線を確保します。

板書が苦手で、授業に追いつけず  
に困っています。



- 黒板・ホワイトボードの写真撮影や、ICレコーダーでの録音が可能です。
- 板書内容がわかるレジュメを配布します。

先生の話が聞か  
います。



- ノートテイクやサポート制度
- 着席位置を配

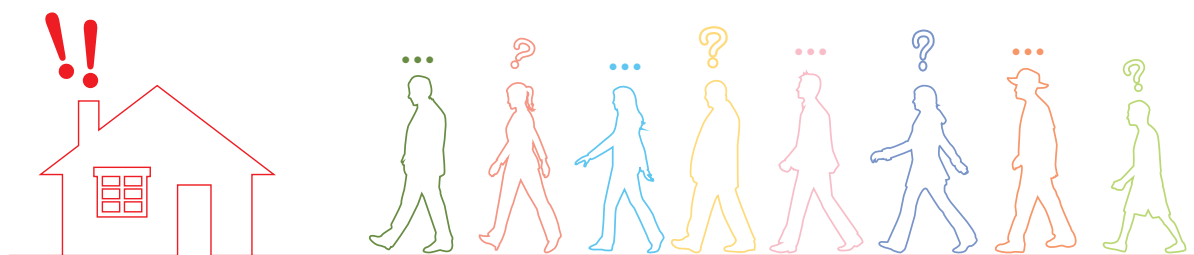
## 学生の声

私は、学習障害の書字障害があります。講義では、ノートにメモを取ることやリアクションペーパーを書く際に、時間が足りなかったり、行の枠の中に書ききれなかったり、テストで頭では理解できていても書いて出力できないという問題があります。

講義では先生にお願いして、スライドや板書を写真で取る許可をもらっていますが、基本的にiPadを使ってメモを書いています。リアクションペーパーをメールで送信する形にもらったり、用紙を大きくしてもらったりしています。また、テストについては、ひらがなで書くことを許してもらったり、論述問題をWordで入力することを許可してもらっています。許可を得るための交渉の際は学生支援室に相談して方針を一緒に考えてもらったり、仲介してもらったりしました。

入学した当初は大学生活に不安がありましたが、学生支援室の支えがあって順調に大学生活を送れています。

社会文化学科 4年次 伊是名翔安

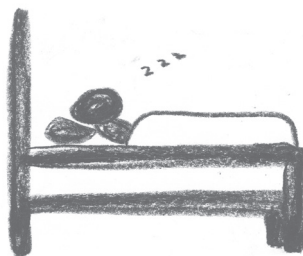


取りづらく困って



文字おこしなどの、  
を活用できます。  
慮します。

身体的に疲れやすく、講義中にも  
気分が悪くなることがあるので  
困っています。



○健康相談室での休憩が可能です。  
○座席を出入口付近に変更し、  
一時退室しやすい環境を整えます。  
○メールなどでの講義資料の配信  
や課題レポート提出が可能です。

レポート作成や試験に時間が  
かかってしまい困っています。



○試験時間の延長や、別室受験を  
認めます。  
○レポート提出方法について、  
柔軟に対応します。

※授業内容等によって、支援の内容は異なります。



授業の空き時間を利用して、障害のある学生の授業時のサポートを行います。  
サポート内容として、肢体不自由のある学生に対する代筆サポート、聴覚障害のある  
学生に対する情報保障（手書きノートテイク、パソコンノートテイク、文字おこし）  
などがあり、すべて学生サポーターが行っています。

興味のある学生は裏表紙へ！

# バリアフリーマップ



## 災害にあった時は！

## 緊急なことに巻き込まれた時は！

緊急時は、障害のある学生にとって、より一層の支援が必要となります。  
事前に緊急時の避難場所と避難経路を確認しておき、もしもの時にスムーズな行動を取れるようにしましょう。また、支援する教職員や友人とも避難方法等を事前に話し合い防災・減災意識を共有することも重要です。そして、緊急時における家族との連絡方法、帰宅方法についても確認しておきましょう。

日常からの備えが、もしもの時の対応に大きな助けとなります。



## バリアフリー設備



身体障害者用トイレ



身体障害者用トイレ  
(オストメイト対応トイレ)



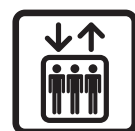
多目的トイレ



おむつ交換台



身体障害者駐車場



エレベーター



自動ドア

## アクセス情報

>>> 緩い傾斜

>>>> 厳しい傾斜

≡≡≡ 段差あり

→ スロープ

## その他



避難場所



AED

学生サポーター  
として活動して  
みませんか！

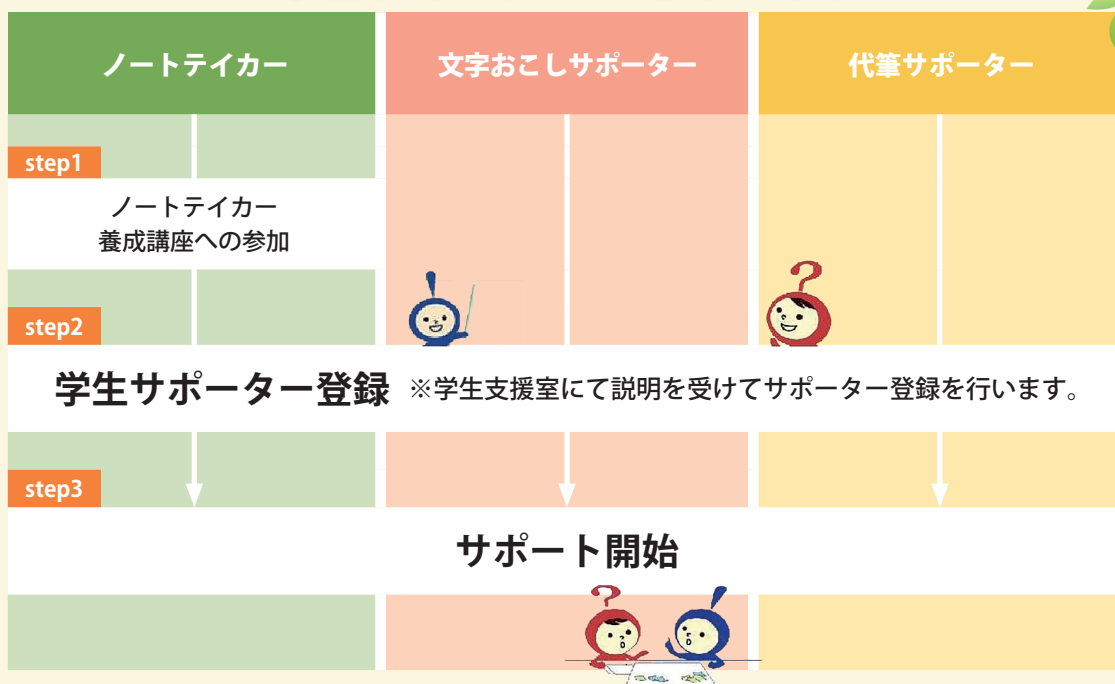


沖縄国際大学には、障害のある学生を支える学生サポーターとして活動している多くの学生がいます。

学生支援室では、障害のある学生の立場に立ち、責任をもって支援活動に取り組む学生を随時募集しています。関心のある方は、いつでも学生支援室までお越しください。

※学生サポーターへは謝礼が支払われます。

## 学生サポーターになるには！



## 学生サポーターの声

### Student supporter's voice



人間福祉学科 4年次  
照屋和美

私は、大学に入学してから福祉に関心を持ちました。福祉については、これまで自分とは縁遠いものだと思っていましたが、高齢者や児童、地域といった様々な分野を学ぶことによって、身近な存在となっていきました。そんな学びを得る中で、大学内でのボランティアも体験してみようと思ったのが代筆サポーターに挑戦するきっかけでした。

代筆サポーターを始める前は、講義のサポートをどのようにすればいいのかと不安を抱えていましたが、実際にやってみるとそこまで難しいものではありませんでした。基本的には、利用学生が講義を受けられるように席を配置し授業の内容をレジュメに記す、写真に保存するなどのサポートを行なっています。相手のことを考えて行動することを意識していれば、活動できるものでした。私はそれに気づいたとき、自分が障害に対して先入観を持っているとわかりました。新たな経験をしたからこそ、自身の認識を改めて知ることができたと感じています。だからこそ、皆さんには新しい学びを見つけるといつもりでボランティアに飛び込んでほしいです。未知の体験をした時、自分の道が更に広がっていくはずです！

沖縄国際大学 学生支援室 〒901-2107 沖縄県宜野湾市宜野湾二丁目6番1号

窓口：平日 9：00～19：00／夏・冬・春期休暇 9：00～17：00

TEL：098-893-0069 E-mail：socwelf@okiu.ac.jp

Facebook ▶ 沖国大 学生支援室

X(Twitter) ▶ @StudentSupportR

Instagram ▶ okiu\_student\_support\_room